

## 情報処理学会機関誌原稿執筆案内

本学会は学会誌「情報処理」、論文誌「情報処理学会論文誌」、および欧文誌 JIP「Journal of Information Processing」を発行している。学会誌「情報処理」は新しい技術動向をはじめとする種々の情報を掲載し、会員の知識の向上をはかるものであり、論文誌と欧文誌は会員の研究発表の場である。

本案内は学会機関誌の原稿執筆要領をまとめたものである。機関誌への会員各位の活発な参加と、より良い内容にするための執筆上の手引きとして利用していただきたい。

### 1. 学会誌「情報処理」原稿執筆案内

#### 1.1 学会誌の目的

学会誌「情報処理」は

- (1) 会員の知識の向上に資すること
- (2) 本学会の活動を報告し、会員各位の学会活動への参画意識を高めていただくこと
- (3) 会員の意見発表、討論、情報交換の場を提供すること
- (4) 広く学会ニュース、各種情報の要約等を提供すること

を目的としている。

#### 1.2 記事種目

学会誌「情報処理」には前項の目的を達成するため、第1表に示す記事種目を設けている。

#### 1.3 特集号

分野を選び、その分野での新しい技術の動向を集中的に解説、展望した特集記事を掲載する。大特集号と特集号の2種に分ける。

- (1) 大特集号：その分野に関する横断的な解説、展望記事をもって構成、年間2回程度
- (2) 特集号：比較的短い解説、展望記事数編をもって構成、年間数回

#### 1.4 寄稿、提案のお願い

1.2項の各種目に対する会員各位の積極的な寄稿、または取り上げるべきテーマの提案をお願いする。特に(1)会員の声、(2)談話室、(3)海外だより、(5)論説、(6)寄書、(12)技術報告への活発な寄稿をお願いしたい。

#### 1.5 寄稿、提案の手続

- (1) 寄稿、提案者は原則として本学会員に限る。
- (2) 寄稿には原則として本会所定の原稿用紙を使用すること。原稿用紙は本会事務局で有料で頒布している。
- (3) 寄稿、提案の種目(1.2参照)を明記すること。提案の場合は提案の趣旨を書き添えること。執筆候補者名を付記してもよい。

- (4) 原稿用紙の購入先、原稿、提案の送付先、および問合せ先は次のとおりである。

(〒106) 東京都港区麻布台 2-4-2

料科ビル

(社)情報処理学会 編集係

(電話) (03) 505-0505

#### 1.6 寄稿原稿、提案の取り扱い

- (1) 寄稿原稿のうち(1)会員の声、(3)海外だよりに属するものは、原則としてそのまま掲載する。

その他の寄稿原稿は学会誌編集委員会で査読し、著者に照会して修正をしていただく場合がある。

- (2) 提案内容の採否については学会誌編集委員会が判断する。

#### 1.7 依頼手続

- (1) 依頼記事については、学会誌編集委員会が依頼原稿の種目ごとに標題などを決定し執筆を依頼する。制限ページ数はそのとき指定する。

- (2) 依頼した著者から承諾の返事があり次第原稿用紙を送付する。

\* 1984年12月改訂  
1986年12月改訂

第1表 学会誌「情報処理」の記事種目

種 目	標準ページ数 (原稿枚数*)	内 容
(1) 会 員 の 声	0.5 ページ (3 枚)	本学会の活動および学会誌に対する会員からの意見
(2) 談 話 室	2~4 ページ (12~24 枚)	経験談, 提案, 批判, 誌上討論など
(3) 海 外 だ よ り	2 ページ (12 枚)	在外者からの外国での研究状況などの報告
(4) 巻 頭 言	1 ページ (6 枚)	本学会の会長や理事などの抱負, 所感
(5) 論 説	4 ページ (24 枚)	社会的な視野からみた情報処理に関する論説や主張
(6) 寄 稿	4 ページ (24 枚)	情報処理に関する理論, 技術, 動向など会員が関心を持つ事項の論説や主張
(7) 講 演	6 ページ (36 枚)	本学会が主催した講演の要旨
(8) 解 説	8 ページ (48 枚)	新しい技術の動向などについて一般の会員を対象として平易に解説したもの
(9) 講 座	10 ページ (60 枚)	定説となっている基礎的な問題について平易に系統的に解説したもの
(10) 展 望	8 ページ (48 枚)	新しい理論, 技術などの展望を比較的専門の立場から論説したもの
(11) 報 告	6 ページ (36 枚)	総合的なプロジェクトや国内外の会議などの成果報告
(12) 技 術 報 告	4 ページ (24 枚)	会員が広く関心をもつ研究, 開発などの報告
(13) 研 究 室 紹 介	3 ページ (18 枚)	大学, 研究所などの研究活動の紹介
(14) 座 談 会	8 ページ (48 枚)	会誌編集委員会が企画した座談会の要約
(15) 書 評	0.5 ページ (3 枚)	文献ニュース小委員会が選定した図書を紹介および批評
(16) 文 献 翻 訳	8 ページ (48 枚)	" 海外文献の翻訳
(17) 文 献 紹 介	0.5 ページ (3 枚)	" 海外文献の概要紹介
(18) ニ ュ ー ス	0.5 ページ (3 枚)	" ニュース
(19) 欧文誌アブストラクト	0.5 ページ (3 枚)	欧文誌に掲載された論文, ショートノートの和文アブストラクト
(20) 論 文 誌 梗 概	0.5 ページ (3 枚)	論文誌に掲載された論文, ショートノートの梗概
(21) 研 究 会 報 告	3 ページ (18 枚)	各研究会, 研究委員会の報告
(22) 規 格 委 員 会 報 告	2 ページ (12 枚)	規格委員会の報告
(23) IFIP の ペ ー ジ	1 ページ (6 枚)	IFIP に関する国内外の活動状況の報告
(24) 会 議 案 内	0.5 ページ (3 枚)	関連国内外の会議の予告, カレンダー, 論文募集など
(25) 本 会 記 事	1 ページ (6 枚)	理事会, 各種委員会の報告, 大会, 総会, 支部だよりなど
(26) 会 告	みどりのページ	学会からのお知らせ, 行事案内
(27) 事 務 局 だ よ り	0.5 ページ (3 枚)	

\* タイトル, 図表などすべてを含めた原稿用紙 (24 字×13 行=312 字) の枚数

(3) 依頼趣旨にそった執筆をしていただくため, 執筆構想 (目次案) ができた段階で著者と協議することがある。

(4) 目次案, 原稿の送付先, および問合せ先は 1.5 (4) 項と同じである。

### 1.8 依頼原稿の体裁と書き方

論文誌原稿執筆案内 2.5 を参考にし, 該当する部分 (たとえば著者名や参考文献の書き方) は, その書き方に従っていただきたい。ただし梗概は不要である。

### 1.9 依頼原稿の取り扱い

依頼原稿は学会誌編集委員会で査読し, 著者に照会して修正をしていただく場合がある。

### 1.10 そ の 他

(1) コピー: 郵送中の紛失事故対策や照会の便宜などのため, 原稿のコピーは必ず手元にとっておいていただきたい。

(2) 正誤: 著者から正誤の申し出があった場合, 正誤表を最近号に掲載する。

(3) 著者紹介: 必要な場合には原稿用紙 1 枚以内の著者紹介と写真一葉を依頼する。

(4) 別刷: 著者は原稿校正時に別刷を注文することができる。その料金は別途定める。

(5) 原稿料: 依頼原稿の原稿料は別途定める。

## 2. 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内

### 2.1 論文誌の目的

論文誌は会員に研究発表の場を提供し, 論文を掲載するとともに, 関連する討論, 技術展望などを通じて学会の発展に資することを期して刊行される。

### 2.2 論文誌の記事種目

(1) 投稿記事: 会員が自発的に執筆するもので, 別表に示す三つの種目がある。この表で, 制限

ページ数は一応の目安であり, 特に必要な場合には超過することも認められる。ただし, どの種目でも冗長とならないよう十分に留意すること。

(2) 依頼原稿: 依頼により会員その他の方々に執筆していただくもので, 新しい技術動向に関する展望など (特集記事に関連するものなど)。

(3) 欧文誌掲載論文の要旨: 欧文誌 JIP の採録

論文の和文要旨，長さは論文誌1ページ分とする。(掲載料等は徴収しない。別刷は作成しない。)

## 2.3 投稿手続

- (1) 投稿者は原則として本会員に限る。寄稿者が2名以上の連名の場合には，そのうちの少なくとも1名は本会員であることが必要である。
- (2) 投稿論文は，各々自己完結したものとして取り扱う。したがって，同一著者による連続論文の投稿，ならびに採用の決定していない論文の相互参照は認めない。
- (3) 本会所定の原稿用紙を使用のこと。原稿用紙は本会事務局にて有料で頒布している。
- (4) ワードプロセッサ等を用いて作成した活字体の原稿も受け付ける。この場合，用紙はB5判で，専用原稿用紙の字詰(24字×13行)にすること。
- (5) 原稿用紙の購入先，原稿の送付先および問合せ先は，いずれも次のとおりである。

〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

(社)情報処理学会 論文誌係 (電話) 03-505-0505

## 2.4 依頼原稿の寄稿手続

- (1) 論文誌編集委員会が標題などを決定し，執筆を依頼する。制限ページ数はそのとき指定する。
- (2) 依頼した著者からの承諾を得た後，原稿用紙を送付する。
- (3) 原稿の送付先および問合せ先は前項と同じ。
- (4) 英文150字語以内の Abstract の添付を依頼することがある。

## 2.5 原稿の体裁と書き方

原稿は，次の①～⑪をこの順に整える。各々別用紙に，必ず用紙を改めて書くこと。(①～⑪でオリジナル原稿一式とする)。

- ① 標 題：できるだけ簡潔に，かつ内容がよくわかるように決め，日英両文で書く。原稿の種別を標題の左肩に明記すること。
- ② 著者名・所属：氏名，所属を日英両文で書く。所属は，大学・学部・学科のように3項目で表記する。また，会員・非会員の別(会員の場合は会員番号も)，著者連絡先(住所，電話番号，内線

等。複数著者の場合は連絡担当者に\*印を付すこと)を用紙の下部に明記すること。

- ③ 梗 概：論文の要約を600字(ショートノートは300字)以内にまとめて書く。著者の目的，理由，行った事柄，結論などを，内容が容易に理解できるように記述する。
- ④ 本 文：まえがき，本論，むすびの順とする。まえがきは，研究分野においてその論文が占める位置や歴史的背景を述べることを目的とする。したがって，本来の研究との関係，研究の特徴などを明瞭に述べる必要がある。本論は，不必要に長い記述を避け，要点を有効に伝えるように書くことが望ましい。結果を示す数式には文章による解釈を付記した方が読者には理解しやすい。むすびは，研究結果を検討し，研究目標に対してどこまで到達できたか，またはなし得なかったか，などについて簡単に記述する。
- ⑤ 謝 辞：謝辞もできるだけ簡単なものとする。特定事項についての援助への謝辞は本文中または脚注で記載した方がよい。
- ⑥ 参考文献：研究内容に直接関係のある重要な文献には必ず言及すること。これら文献に関連のある本文中の箇所には，右肩に参考文献番号を書き，末尾にその文献をまとめて記述する。(次節参照)
- ⑦ 付 録：長い数式の誘導の過程や，実験装置，計算機についての説明などの詳細が必要な場合，これを本文中に挿入すると論旨が不明瞭になるので，付録にする方がよい。
- ⑧ 図(次節参照) ⑨ 表(次節参照)
- ⑩ 英文アブストラクト：欧文誌に掲載するため，英文によるアブストラクトを150語以内で書く(用紙はA4タイプ用紙でも可)。別用紙に，英文による標題，著者名，所属を記入して添付する。
- ⑪ キーワード表・チェックリスト表：情報処理学会所定のもの。

## 2.6 投稿原稿の整え方

原稿を投稿する際は，次の(A)～(C)を必要とす

論文誌の投稿記事種目

種 目	制限ページ数 (原稿枚数*)	内 容
(1) 論 文	8ページ(48枚)	学術，技術上の研究・開発成果の記述であり，独創性，新規性，有用性などの点から会員にとって価値のあるもの。
(2) ショートノート	3ページ(18枚)	新しい研究・開発成果の速報，または小論文。
(3) 誌 上 討 論	2ページ(12枚)	掲載論文，ショートノートに対する質問，回答，その他の意見，提案など。

\* タイトルや図表などすべてを含めた原稿用紙(24字×13行=312字)の枚数

る。不足がある場合は受け付けない。

- (A) オリジナル原稿一式 (①~⑩)
- (B) (A)のコピー2部 (但し査読用として, ②著者・所属, ⑤謝辞および⑩キーワード表・チェックリストをはずしたもの)。
- (C) ①標題, ②著者・所属, ③梗概, ⑤謝辞, ⑩キーワード表それぞれのコピー1部。

## 2.7 原稿執筆上の一般的注意事項

- (1) 文体はひらがなまじり国語文章体とし, 常用漢字, 新かなづかいを用いる。
- (2) 専門用語については, 簡単な用語説明を添付することが望ましい。また本文中に使用する記号には必ず説明をつける。
- (3) 参考文献は原則として, 雑誌の場合には, 著者, 標題, 雑誌名, 巻, 号, ページ, 発行年を, 単行本の場合には, 著者, 書名, ページ数, 発行所, 発行年を, この順にする。次の例を参照にされたい。
  - 4) 山田太郎: 偏微分方程式の数値解法, 情報処理, Vol. 1, No. 1, pp. 6-10 (1960).
  - 5) Feldman, J. and Gries, D.: *Translator Writing System*, *Comm. ACM*, Vol. 11, No. 2, pp. 77-113 (1968).
  - 7) 大山一夫: 電子計算機, p. 300, 情報出版, 東京 (1981).
  - 8) Wilkes, M. V.: *Time Sharing Computer Systems*, p. 200, McDonald, New York (1978).
- (4) 図 (モノクロ写真およびカラー写真を含む) および表には, 図1および表1のような通し番号と名称を和文と英文でつける。英文はその図や表の内容が本文を参照しなくても理解できるよう配慮する。

図は著者の作成したものを, そのまま印刷するので, 下記要領により, 黒インキで浄書 (トレース) すること。①刷上り寸法の2倍大にきれいに書き, 文字, 記号などは明瞭に記入する。②図を入れる場所は, 原稿用紙の欄外に明記すること。③表はできる限り簡潔に作成し, 長い表は, 途中を省略するか, あるいは, 直接製版できる原稿にする。

なお, 著者自身で上記にそったトレースができない場合には, 寄稿時にその旨を図面原稿に指示すること。この場合には, 有料にてトレースする。

図, 表のでき上り寸法と行数の換算は次のとおりである。

寸法 (mm)	行数 (24字 (行))	原稿相当枚数
A. 50×34	6行	0.5枚
B. 67×50	12行	1枚
C. 100×67	22行	2枚
D. 134×100	44行	3.5枚

- (5) 数字, ローマ字, ギリシャ文字, 記号などは特に明瞭に記載する。大文字・小文字, 上つき・下つきの別, × (かける) と X (エックス) の別など。
- (6) 句読点は“.”および“,”を用い, それぞれ1画 (1字分) を用いる。
- (7) 数式は印刷に便利なよう注意する。文中に式を挿入する場合には  $a/b$ ,  $\exp(t/r)$  のような記法を用いる。
  - 独立した数式は1行につき原稿用紙の2行または3行のスペースを取って書く。数式も文の一種であるから, 原則として末尾に“,”または“.”を付す。ただし, プログラム言語の形式を利用する場合には, この限りではない。
- (8) 印刷すべき本文以外の指定や注意書きなどはすべて朱書する。
- (9) 原稿中にあとから文章, 文字などを挿入する時は, 挿入する文章や文字を欄外に明瞭にし, かつ挿入する箇所をVまたは^ (朱書) で示す。
- (10) 脚注は, \*, \*\*, \*\*\* などの記号で示し, 本文中そのすぐ下に横線ではさんで記入し, 脚注と朱書する。

- (11) 文中の記号で太字を使用の場合は, その記号の下に~を朱書し, イタリック体 (斜体) 使用の場合はその文字の下に朱書で~と指定する。

## 2.8 投稿原稿の取り扱い

- (1) 2.6 投稿原稿の整え方に示した書類がすべて整えられて投稿されたときは, 受付日と受付番号を付して原稿受領書を発行する。投稿論文について問い合わせ等は以後この受付番号によること。
- (2) 投稿原稿は, 査読委員の審査結果に基づき論文誌編集委員会で次のいずれかに決定する。
  - (a) 採録とする。
  - (b) 著者に照会して回答または修正などを求めたうえ, 改めて審査を行い採否を決定する。
  - (c) 不採録とする。
- (3) 委員会後, 採否の決定通知を著者に送付する。
- (4) 採録の決定した論文, ショートノートは, 委員会翌月の学会誌 (本会記事のページ) 上に発表

する。また、論文誌上に掲載する際には、末尾に原稿受付日および採録決定日を記録する。

- (5) 照会は、論旨不明な点の修正、明らかな誤りの訂正、難解もしくは冗長な記述の書きかえなどを求めることに主眼をおいて行われる。

ただし、照会回数は原則として1回以内とする。

- (a) 照会期間は3カ月とし、3カ月以上経って著者より連絡がない場合には取り下げたものとして処理する。

- (b) 原稿が大幅修正となる場合には、査読委員の査読効率を考慮して読みやすい形に全面修正すること。読みにくい原稿に対しては、学会から論文体裁の修正を要求することもある。

- (6) 不採録に決定した原稿は、不採録とした理由を付して著者に返却する。

- (7) 投稿論文は次の場合には不採録とする。

- (a) 本学会の論文として不適当な分野の内容である場合。

- (b) 既発表または公知のものである場合 注)。

- (c) 本質的な誤りがあるか、あるいは客観的に認知できない内容が含まれる場合。

- (d) 内容の程度が低く、会員の参考にならないと判断された場合。

- (e) 照会によって本学会の論文にふさわしい程度に改良される見込みがないと判断された場合。

注) 既発表、公知の範囲の規準について

本学会受付前に下記の規準の公開刊行物に投稿された論文は既発表とみなし、原則として採録不可能なものとする。

- (1) 定期刊行物：学会誌、商業誌、各種機関誌、

月刊、季刊等、査読の有無を問わない。

大学 Bulletin は定期刊行物に含める。

- (2) 査読を行う会議録：学会大会、研究会、国際会議、例えば IFIP, NCC 等。ただし、

- (3) 前項(1), (2)に該当する場合でも、有用で十分に新しい内容が付け加えられたものは、既発表とはみなさない。

- (4) ショートノートをもとに発展、充実させたものは既発表とはみなさない。

- (5) 学会の研究会で発表された内容は既発表とはみなさない。

既発表論文と内容重複のある論文については、読者にとっての有益性を勘案して採否を決する。

## 2.9 掲載決定通知、別刷等

- (1) 掲載決定通知：採録の決定した論文等に関しては、掲載号が決まった時点で掲載決定通知を送付する。

- (2) 校正：著者に校正刷りを送り、誤植の防止に万全を期するが、校正のさいに、原稿および印刷面を訂正することは認めない。

- (3) 正誤：著者から正誤の申し出があった場合、正誤表を最近号に掲載する（事情により有料とする）。

- (4) 著者紹介：必要な場合には所定の原稿用紙1枚以内の著者紹介と写真1枚を依頼する。

- (5) 別刷：論文誌に掲載される投稿論文等については、100部以上の別刷を買い取っていただく価格は別表による。著者校正の際、別刷申込み書を同封するので、必要部数価格等を明記して校正ゲラとともに返送すること。

論文誌別刷価格表(単位:円)

部数 \ ページ数	1	2	3	4	5	6	7	8
100	7,000	14,000	21,000	28,000	35,000	42,000	63,000	84,000
200	8,000	15,000	22,000	29,000	36,500	43,500	64,500	85,500
300	9,000	16,000	23,000	30,000	38,000	45,000	66,500	87,500
400	10,000	17,000	24,000	31,000	39,500	46,500	68,500	89,500
500	11,000	18,000	25,000	32,000	41,000	48,000	70,500	91,500

なお、8ページを超えるときは100部の場合で1ページにつき21,000円を加算する。カラー写真については、1カラー頁当たり、4通常頁分と換算する

### 3. 欧文誌「JIP」原稿執筆案内

概要のみを記す。詳細は欧文誌に随時掲載される著者への投稿案内（英文）を参照のこと。

#### 3.1 欧文誌の性格、掲載論文種別

JIP は英文による学術雑誌である。掲載論文等は(1)原著論文、(2)ショートノート、(3)学会出版物のアブストラクト、(4)その他、とする。(1)と(2)を募集する。

#### 3.2 投稿方法

- (1) 原稿は4部提出する。原著論文は刷り上がり8ページ以内を一応の目安とする。ショートノートは2ページ以内に限る。
- (2) 図面は原則として原本を提出する。
- (3) 著者紹介(英文)および写真を添付すること。
- (4) アブストラクトは3種必要である。すなわち  
(a)論文冒頭に掲げる英文アブストラクト(原著論文では200語以内、ショートノートでは50語以内)。  
(b)前項の和訳、和文表題を含める。「情報処理」に掲載される。  
(c)刷り上がり1ページ(表題、著者名などを含めて)の和文要約。図、表等を含んでよい。情報処理学会論文誌に掲載される。ただしショートノートの場合は刷り上がり0.5ページとする。それだけを見れば論文の性格はわかり、読者に読んでみたいという気を起こさせるようなものであることが望ましい。

なお著者が日本人でない場合には(b)を省略し、(c)は英語版を提出することにしてもよい。その場合は編集委員会に必要な翻訳をおこなう。

- (5) 査読割り当ての便宜のため、所定の質問表に回答を記入して添付すること。
- (6) 著者の所属、郵便送付先を明示した書状を添えること。日本語でも可。
- (7) 原稿送付先は次のとおり。

(〒106) 東京都港区麻布台 2-4-2

保科ビル

(社)情報処理学会 欧文誌係

(電話) 03-505-0505

#### 3.3 原稿の形式

- (1) A判用紙(21 cm×30 cm)の片面にダブルスペースでタイプ打ちを原則とする。用紙寸法は8.5"×11"(レターサイズ)でもよい。たとえば1

行65文字、1ページ28行とし、上下3 cm(強)の余白を残し、パラグラフの先頭を5字分あける。ただし印字品質が十分よくて読み違いの恐れがなく、査読者等が書き込みをするためのスペースが十分あり、かつ分量の計算が容易にできるようなものであれば、これ以外の形式(たとえばレーザービームプリンタの出力)であっても差し支えない。刷り上がり1ページは、通常のテキストでは1,000語程度であるが、図等があればその分のスペースを考慮すること。

- (2) 3.2節(4)に記載のとりのアブストラクトを含めること。
- (3) 表題、著者名、および所属は別紙とする。共著の場合には、著者と所属の間の対応を明示すること。
- (4) 引用文献リストは「JIP」形式による。くわしくは英文投稿規定または最近のJIPを参照のこと。
- (5) 図のキャプションをまとめて別紙に示すこと。
- (6) その他英文原稿作成の常識にしたがうこと。

#### 3.4 図面の形式

- (1) 図は学会ではトレースができないので、鮮明で汚れがなく、コントラストのよいものを提出する。
- (2) できればA4判の用紙等を用いる。レターサイズでもよい。
- (3) グラフは座標軸のみとするか、主だった格子のみ示すこと。
- (4) レタリングが小さくなりすぎないように注意する。
- (5) 写真は光沢焼きとし、十分なコントラストと濃淡を持つ常識的な寸法のものとする。
- (6) 図画原本には裏面に鉛筆で番号を振り、著者名を書いておくこと。

#### 3.5 査読

投稿原稿は査読される。採否の最終的判断は編集委員会でおこなうが、内容についての最終的責任は著者にある。

#### 3.6 その他

- (1) 投稿原稿は返却しない。
- (2) 掲載論文等の著作権は学会に帰属する。

(3) 著者または著者の所属先に、別刷100部を下記価格で購入していただく。

(4) 1ページの和文要約(3.5節(4)のb)については掲載料等は徴収しない。ただし別刷は学会では

作成しない。

(5) 論文掲載誌10部(掲載論文1篇当たり)を著者の指定する海外の研究者等に著名の名義で寄贈する。

Pages	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Prices	¥ 5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000

#### 4. 機関誌に掲載された論文等の著作権

##### 4.1 著作権の帰属

(1) 機関誌に掲載された論文等(以下論文等という)の著作権は原則として本学会に帰属する。

(2) 特別な事情により前項の原則が適用できない場合は著者と本学会との間で協議の上措置する。なお特別な事情としては次のような例を想定する。

- 依頼論文等であって、その内容が著者個人でなく著者の所属する法人等に係るもので、著作権の本会への移転帰属に関し当該法人等の了解が得られない場合。
- 特別講演記事などで著者の了解が得られない場合。

##### 4.2 著作権の本学会への移転帰属による運用効果および運用上の措置等

(1) 論文等の著作権は本学会に帰属するが、著者人格権は著者に帰属する。ただし、著者が著者自身の論文等を複製・翻訳等の形で利用することに対し、本学会はこれに異議申立て、もしくは妨げることをしない。この場合著者は本学会に申し出を行い、また利用された複製物あるいは著作物中に出典を明記すること。

(2) 本学会は論文等の複製をおこなうことができる。但しこの場合関係する著者にその旨了解を得る。

(3) 第三者から論文等の複製あるいは翻訳等の許諾要請があった場合、本学会は理事会において審議し、適当と認めたものについて要望に応ずることができる。但しこの場合関係する著者にその旨了解を得る。

(4) 前項の措置によって、第三者から本学会に対価の支払があった場合には関係する著者に報告の上、本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する。

##### 4.3 著作権侵害等に関する注意事項

(1) 執筆に当っては他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題を生じないように十分に配慮すること。

(2) 著者は公表された著作物を引用することができる。引用した場合はその出典を明示すること。

(3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合著者がその責を負う。

## 定期刊行物の省略記法

(ISO 4, ISO 833 による)

誌名	省略記法
ACLS Newsletter	<i>ACLS Newsl.</i>
ACM Transactions on Database Systems	<i>ACM Trans. Database Syst.</i>
ACM Transactions on Mathematical Software	<i>ACM Trans. Math. Softw.</i>
ACM Transactions on Programming Languages and Systems	<i>ACM Trans. Prog. Lang. Syst.</i>
Acta Informatica	<i>Acta Inf.</i>
AEDS Journal	<i>AEDS J.</i>
AEDS Monitor	<i>AEDS Monit.</i>
ALGOL Bulletin	<i>ALGOL Bull.</i>
American Journal of Computational Linguistics	<i>Am. J. Comput. Linguist.</i>
American Scientist	<i>Am. Sci.</i>
Annals	<i>Ann.</i>
The Annals of the American Academy of Political and Social Science	<i>Annals AAPSS</i>
Applied Mathematics and Computation	<i>Appl. Math. Comput.</i>
Artificial Intelligence	<i>Artif. Intell.</i>
Association for Literary and Linguistic Computing-Bulletin	<i>Assoc. Lit. Linguist. Comput. Bull.</i>
The Australian Computer Journal	<i>Aust. Comput. J.</i>
Bell System Technical Journal	<i>Bell Syst. Tech. J.</i>
BIT	<i>BIT</i>
Communications of the ACM	<i>Comm. ACM</i>
Computer	<i>Computer</i>
Computer Aided Design	<i>Comput. Aided Des.</i>
Computer Bulletin	<i>Comput. Bull.</i>
Computer Design	<i>Comput. Des.</i>
Computer Educator	<i>Comput. Educ.</i>
Computer Graphics and Art	<i>Comput. Gr. Art</i>
Computer Graphics and Image Processing	<i>Comput. Gr. Image Process.</i>
Computer Graphics Newsletter	<i>Comput. Gr. Newsl.</i>
Computer Journal	<i>Comput. J.</i>
Computer Languages	<i>Comput. Lang.</i>
Computer Methods in Applied Mechanics and Engineering	<i>Comput. Methods Appl. Mech. Eng.</i>
Computers and Biomedical Research	<i>Comput. Biomed. Res.</i>
Computers & Graphics	<i>Comput. Gr.</i>
Computers and Humanities	<i>Comput. Hum.</i>
Computing	<i>Computing</i>
Computing Newsletter	<i>Comput. Newsl.</i>
Computing Surveys	<i>Comput. Surv.</i>
Datamation	<i>Datamation</i>
Education Technology	<i>Educ. Tech.</i>
Engineering and Instrumentation	<i>Eng. Instrum.</i>
IBM Journal of Research and Development	<i>IBM J. Res. Dev.</i>
IBM Systems Journal	<i>IBM Syst. J.</i>



誌	名	省 略 記 法
IEEE Spectrum		<i>IEEE Spectrum</i>
IEEE Transactions on Computers		<i>IEEE Trans. Comput.</i>
IEEE Transactions on Software Engineering		<i>IEEE Trans. Softw. Eng.</i>
Industrial Engineering		<i>Ind. Eng.</i>
Information and Control		<i>Inf. Control</i>
Information Processing and Management		<i>Inf. Process. Manage.</i>
Information Processing Letters		<i>Inf. Process. Lett.</i>
Information Science		<i>Inf. Sci.</i>
The Information Scientist		<i>The Inf. Sci.</i>
Information Systems		<i>Inf. Syst.</i>
Instrumentation Technology		<i>Instrum. Technol.</i>
International Journal of Bio-Medical Computing		<i>Int. J. Bio-Med. Comput.</i>
International Journal of Computer and Information Sciences		<i>Int. J. Comput. Inf. Sci.</i>
International Journal of Computer Mathematics		<i>Int. J. Comput. Math.</i>
International Journal of General Systems		<i>Int. J. General Syst.</i>
International Journal of Man-Machine Studies		<i>Int. J. Man-Mach. Stud.</i>
Journal of the ACM		<i>J. ACM</i>
Journal of the American Society for Information Science		<i>J. Am. Soc. Inf. Sci.</i>
Journal of the American Statistical Association		<i>J. Am. Stat. Assoc.</i>
Journal of Chemical Information & Computer Sciences		<i>J. Chem. Inf. Comput. Sci.</i>
Journal of Clinical Computing		<i>J. Clin. Comput.</i>
Journal of Computational Physics		<i>J. Comput. Phys.</i>
Journal of Computer and System Sciences		<i>J. Comput. Syst. Sci.</i>
Journal of Cybernetics and Information Sciences		<i>J. Cybern. Inf. Sci.</i>
Journal of the Franklin Institute		<i>J. Franklin Inst.</i>
Journal of Symbolic Logic		<i>J. Symbolic Logic</i>
Journal of Systems Management		<i>J. Syst. Manage.</i>
Law and Computer Technology		<i>Law Comput. Technol.</i>
Management Information Systems Quarterly		<i>Manage. Inf. Syst. Q.</i>
Management Science		<i>Manage. Sci.</i>
Mathematical Programming		<i>Math. Program.</i>
Mini-Micro Systems		<i>Mini-Micro Syst.</i>
Nachrichtentechnische Zeitschrift		<i>Nachrichtentech. Z.</i>
Operations Research		<i>Oper. Res.</i>
Pattern Recognition		<i>Pattern Recogn.</i>
Popular Computing		<i>Pop. Comput.</i>
Proceedings of the IEEE		<i>Proc. IEEE</i>
Proceedings of the SID		<i>Proc. SID</i>
Science		<i>Science</i>
Scientific American		<i>Sci. Am.</i>
SIAM Journal on Applied Mathematics		<i>SIAM J. Appl. Math.</i>
SIAM Journal on Computing		<i>SIAM J. Comput.</i>
SIAM Journal on Control		<i>SIAM J. Control</i>
SIAM Journal on Mathematical Analysis		<i>SIAM J. Math. Anal.</i>
SIAM Journal on Numerical Analysis		<i>SIAM J. Num. Anal.</i>
SIAM Review		<i>SIAM Rev.</i>
SID Journal		<i>SID J.</i>
Simulation		<i>Simulation</i>
Software-Practice & Experience		<i>Softw. Pract. Exper.</i>
Soviet Cybernetics Review		<i>Sov. Cybern. Rev.</i>
Theoretical Computer Science		<i>Theor. Comput. Sci.</i>

注) 一般的に会議論文集は次のように略記する。 Proc. \*\*th 会議名 開催年 (例) Proc. 8th IJCAI 1983

付 録 2

情 報 処 理 学 会 関 連 の 英 文 略 記

誌 名	省 略 記 法
情報処理学会 (Information Processing Society of Japan)	<i>IPS Japan</i>
学会誌「情報処理」 (Journal of Information Processing Society of Japan)	<i>J. IPS Japan</i>
論文誌 (Transactions of Information Processing Society of Japan)	<i>Trans. IPS Japan</i>
欧文誌 (Journal of Information Processing)	<i>J. Inf. Process.</i>
旧英文誌 (Information Processing in Japan)	略記しない
全国大会 (The **th Annual Convention IPS Japan)	<i>Proc. **th Annual Convention IPS Japan</i>
全国大会論文集 (Proceedings of the **th Annual Convention IPS Japan)	